

常任委員会視察ルポ

総務委員会視察ルポ

の下、行政職員削減の代替策として受付等の業務を市民(団体)に委託する「行政パートナー制度」という市民との協働による新たな行政運営の施策について視察を行なった。

総務委員会は神奈川県大和市、埼玉県志木市、東京都八王子市の三市を五月十一日から三日間で行政視察を行った。

まず、大和市では、本市の市営住宅長期的計画の研究のため「市営住宅マスタープラン」及び行政事業の再点検を行う「行政評価システム」の二項目について調査をした。

志木市では、「地方から国を変える」という市長スローガン



八王子市で談合監視委員会について説明を受ける

今回の視察においては、どの市においても、公平な行政運営のための努力や市民サービス向上のための具体的な事業の運用状況等を直接研修できたことは大きな収穫であり、この成果を本市でも生かすべく委員会で議論を重ねていきたい。

建設委員会視察ルポ

建設委員会では、平成十七年五月十六日から十八日までの日程で、茨城県土浦市、栃木県小山市、埼玉県上尾市の行政視察を行いました。

土浦市では防災計画について視察しました。平成八年にマグニチュード七から八を想定して大幅な計画の見直しが行われ、特に地域防災無線の整備においては、目を見張るものがありました。学校や公民館に六十カ所

整備され、医療機関、警察、消防署等の情報交換、災害現場での情報収集等に効力を発揮しているようです。しかし、費用が約一億円かかるという財政的な課題も否めません。

小山市では、交通バリアフリー基本構想について視察しました。小山駅を中心に、一般道路の整備、信号機の設置目標など五つの整備方針を決め、三年間

かけて基本構想を策定されたこと。なかでも小山駅のエスカレーターは車椅子でも利用できる整備がなされ、バリアフリーに対する意識の高さを感じました。



JR小山駅周辺バリアフリーを視察する建設委員会

上尾市では、市内循環バス「くるとくん」について視察しました。市内各所を循環するもので、六路線あり、毎日運行で運賃は百円、本市と違い公共施設をつなぐだけではなく、通勤通学、買い物等の目的も含め運行されています。

利用者は年間約四十九万人と本市の倍近くではありますが、広いエリアをカバーするため、委託料として年間約九千五百万円の経費が必要とされている現実もありました。

長い夏休みも終わり、ほっとひと息つかれた保護者の方も多いのではないのでしょうか。近頃では遊び方も様変わりし、夏が終わっても真っ黒に日焼けした子供を見かけることが少なくなりました。私達の子供の頃は山に川に駆け回り、夏休みも残り少なくなつて宿題に追われたものでした。学歴重視社会において今の子供達は塾や習い事に忙しく、夏を楽しむ本来の子供の姿から遠ざかっているように思えるのは私だけでしょうか。子供の心の糧となる教育について考えさせられる夏でした。

編集後記

長い夏休みも終わり、ほっとひと息つかれた保護者の方も多いのではないのでしょうか。

近頃では遊び方も様変わりし、夏が終わっても真っ黒に日焼けした子供を見かけることが少なくなりました。私達の子供の頃は山に川に駆け回り、夏休みも残り少なくなつて宿題に追われたものでした。学歴重視社会において今の子供達は塾や習い事に忙しく、夏を楽しむ本来の子供の姿から遠ざかっているように思えるのは私だけでしょうか。子供の心の糧となる教育について考えさせられる夏でした。

(成之)

- 議会報編集特別委員会
- 委員長 長能 文代
 - 副委員長 谷 成之
 - 委員 松尾 浩孝
 - 委員 柴田 英明

